



夏のあそび 水あそびがはじまり。こどもたちにとっては楽しいあそびそのもの。  
今迄メソメソしていたつぼみのおともだちの数人が水を得た魚のように生き生き  
とした笑みがこぼれるように……。

二つのプールを30分交替で使っている年少・年中・年長組のこどもたち。  
こどもたちの標的は担任！ キャーキャー言いながら全身ずぶぬれです。

■ この1学期の園生活をおしてこどもたちはさまざまな体験をしてきました。  
そのほとんどは家では出来ない体験です。  
楽しいもの、苦しいもの、<sup>あつ</sup>暑いもの、<sup>たが</sup>難しいもの……とさまざまです。

■ 毎年、つぼみ組は「ママ離れと子離れ」を大きなテーマとしてスタートを切っております。この時期ほぼ100パーセント近く達成かな……？という所まで到達しているでしょう。

そして、これらはひとりで取り組んだものばかりではなく、おともだちと一緒に取り組んだものも沢山ありました。



これらの体験はひとりひとりの心の支えになっていきます。やがて2学期には大きな大きな花を咲かせますよ。

こども自身園生活をおして意識をせずママ離れをすすめて行きますが、こどもに心配なのはママの子離れが出来ないとブレーキがかかってしまいます。  
この点を留意され力を貸してあげてください。



## 心が育つまわり道

試しに今、パパかママが壁なしさが立ちに挑戦しても殆どの方は立てたけれど一歩も動けず「バタン！」でしょう。  
その壁なしに挑戦している子は沢山おられます。年長組から年中組・年少組へとその数は増えて行くのは当然ですね。

壁なしで3歩、4歩とあるだけで勲章なのです。とても凄い事なんです。こども達に本人の努力は大変なモノです。沢山の失敗を重ねて来ました。途中で投げ出さず続けて来ました。これによって一人ひとりの心がたくましく育って来、ここで止まる事をせず次のレベルUPを目指します。

こども達 就学前の幼児たちです。「最初は出来なかったけどがんばって練習して行けば出来るようになるんだ!!」を幾度も経験しているしこれからです。そして次の目標に到達する迄再びさまざまな苦勞が待ち受けています。

その挑戦は難しいし、簡単に出来るものではないと言う事は幼児自身が知っているのになぜ挑戦するのでしょうか？  
それは「できるようになりたい!!」と言う原動力と「やればできるんだ!!」と言う自信があるからでしょうね。すなわち「意欲」「やる気」を持ったのです。

どの子も近道を行っておりません。みんな遠まわりを経験しております。個人差があって、みんなより早目になれる子も居れば長い期間挑戦している子も沢山居ます。

自分が苦勞しているから おともだちの苦勞が判り、<sup>わか</sup>そのおともだちへまわりからの「心」が自然に集まっています。自然体はそんな幼児集団です。  
こどもは環境で育つ……と言われております。本当です……!